

プログラム第1日目：5月18日（土）

一般演題／口演

13:00～15:00

発表会場1・講303

●第1セッション「専門職とチームケア」

司会：吉田澄恵（東京女子医科大学）

1-1 「チーム医療」を標榜する実践活動の類型化モデル構築の試み

— 多職種連携の課題克服に向けて —

○小村富美子・荒井秀典（京都大学大学院医学研究科）

1-2 職業コミットメント尺度の信頼性と因子構造の確認

○佐藤みほ・朝倉京子・渡邊生恵・下條祐也（東北大学）

1-3 在宅医療における療養者・介護者・医療者の関係性の構築

— 療養者に学ぶ「学びの共同体」の醸成 —

○鮫島輝美（京都光華女子大学健康科学部）

1-4 知的障害者施設における看護職員と生活支援員の連携・協働に関する認識

○長峰久美子（東京都立板橋看護専門学校）

1-5 医療従事者が抱える社会的課題 — 臨床工学技士へのインタビュー調査事例より—

○安林奈緒美・当間健夫・安林幹翁（中部大学生命健康科学研究所）

一般演題／口演

13:00～15:00

発表会場2・講304

●第2セッション「意思決定をめぐって」

司会：田代志門（昭和大学）

2-1 血友病保因者の遺伝に関する支援課題の検討（第一報）

— 薬害 HIV 感染被害者・家族を事例としたパイロットスタディー —

○柿沼章子<sup>(1)</sup>：社会福祉法人はばたき福祉事業団・久地井寿哉<sup>(1)</sup>・井上佳世  
（お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科）・大平勝美<sup>(1)</sup>

2-2 血友病保因者の遺伝に関する支援課題の検討（第二報）

— 薬害 HIV 感染被害者・家族における支援特性・支援環境構築の検討 —

○久地井寿哉（社会福祉法人はばたき福祉事業団）・柿沼章子（社会福祉法人はばたき福祉事業団）・井上佳世（お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科）・大平勝美（社会福祉法人はばたき福祉事業団）

## 2-3 市民後見人の現状分析と役割に関する研究 ―質的調査を通して―

○永野叙子（筑波大学人間総合科学研究科）

## 2-4 知的障害児に続く妊娠・出産の意思決定過程における困難と対処

―納得する変化を得るための母親たちの挑み―

○木村美也子（東京大学）・伊藤美樹子（大阪大学）・大村佳代子（大阪大学）・山崎喜比古（日本福祉大学）

## 2-5 患者・市民のヘルスリテラシー教育の試み

―COML「医療で活躍するボランティア養成講座」でのパイロット研究―

○石川ひろの（東京大学）

## 2-6 HIV 陽性者のヘルスリテラシー向上のためのポータルサイト開設

―その狙い・作成経緯とコンテンツ―

○井上洋士（放送大学）・戸ヶ里泰典（放送大学）・阿部桜子（NTT docomo）  
若林チヒロ（埼玉県立大学）・板垣貴志（株式会社アクセライト）

<b>RTD①</b>	<b>13:00~15:00</b>	<b>発表会場 3・講 306</b>
-------------	--------------------	---------------------

## 病の語り：哲学と人類学・社会学の架け橋

企画者／司会／話題提供者：池田光穂（大阪大学）

話題提供者：松岡秀明（大阪大学）

話題提供者：吉田尚史（早稲田大学）

話題提供者：島藺洋介（大阪大学）

<b>大会長講演</b>	<b>15:10~15:40</b>	<b>シンポ会場・講 214</b>
--------------	--------------------	--------------------

## 今、改めて「障害」と「支援」を考える

小澤 温（筑波大学人間系）

教育講演

15:50~18:00

シンポ会場・講 214

**教育講演 1**

**障害の定義と障害者政策を考える**

佐藤久夫（日本社会事業大学・内閣府障害者政策委員会）

司会：小澤温（筑波大学）

**教育講演 2**

**社会学からみた障害の概念**

星加良司（東京大学大学院教育学研究科）

司会：小澤温（筑波大学）

プログラム第2日目：5月19日（日）

一般演題／口演	9:00～11:00	発表会場1・講303
---------	------------	------------

●第3セッション「ケアをみなおす」

司会：朝倉京子（東北大学）

3-1 トランスファー場面における指し示し

○吉井智晴（東京医療学院大学）

3-2 専門家と一般人における介護度別の効用値測定尺度の検証および比較

○栗盛須雅子（茨城キリスト教大学・茨城県総合健診協会 茨城県立健康プラザ）・  
福田吉治（山口大学）・星旦二（首都大学東京）・大田仁史（茨城県総合健診協会 茨  
城県立健康プラザ）

3-3 急性期病棟の管理の編成 —病棟師長及び係長の語りに注目して—

○西村ユミ（首都大学東京）・前田泰樹（東海大学）

3-4 施設職員の「パフォーマンス」に関する一考察

—認知症ケアに見られる「スイッチの移ろいやすさ」に注目して—

○京極重智（大阪大学大学院人間科学研究科）

3-5 スウェーデンにおけるケアに関する意識について —市民に対する意識調査結果から—

○竹内さをり（甲南女子大学） 備酒伸彦（神戸学院大学）

一般演題／口演	9:00～11:00	発表会場2・講304
---------	------------	------------

●第4セッション「医療をみなおす」

司会：金子雅彦（防衛医科大学校）

4-1 日本における出産の施設化の要因に関する計量分析

—とくに健康保険出産給付金に注目して—

○白井千晶（早稲田大学ほか非常勤講師）

4-2 グローバルな母乳育児支援プログラム—「Baby Friendly Hospital」を中心に—

○永山聡子（一橋大学大学院社会学研究科地球社会研究専攻）

4-3 日本における人工授精普及過程に関する歴史的検討 —「生殖の医療化」の進展—

○由井秀樹（立命館大学大学院先端総合学術研究科・日本学術振興会）

#### 4-4 日本における胃瘻の変遷 ―研究論文のレビューを通して―

○杉島優子（立命館大学大学院社会学研究科博士前期課程）

#### 4-5 HPV（ヒトパピローマウィルス）ワクチンの副作用と倫理的な問題

―導入先進国5年間の例から―

○土屋葉子（早稲田大学人間科学研究科）・町田和彦（早稲田大学人間科学学術院）

<b>RTD②</b>	<b>9:00~11:00</b>	<b>発表会場3・講306</b>
-------------	-------------------	-------------------

#### 発達障害者当事者研究とエスノメソドロジー「社会性の障害」を再考する

企画者・司会者・話題提供者：浦野 茂（三重県立看護大学）

話題提供者：あおの（Necco 当事者研究会）

話題提供者：綾屋紗月（東京大学）

話題提供者：熊谷晋一郎（東京大学）

話題提供者：ことこ（Necco 当事者研究会）

話題提供者：トウコ（Necco 当事者研究会）

話題提供者：みつる（Necco 当事者研究会）

話題提供者：ミナリ（Necco 当事者研究会）

<b>RTD③</b>	<b>9:00~11:00</b>	<b>発表会場4・講307</b>
-------------	-------------------	-------------------

#### 遺伝相談へのアプローチ

～血友病患者・家族および薬害 HIV 被害者・家族の事例より～

企画者・話題提供者：久地井寿哉（社会福祉法人はばたき福祉事業団）

話題提供者：柿沼章子（社会福祉法人はばたき福祉事業団）

話題提供者：井上佳世（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）

話題提供者：大金美和（独立行政法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）

<b>シンポジウム</b>	<b>13:00~15:00</b>	<b>シンポ会場・講214</b>
---------------	--------------------	-------------------

#### 「障害」と「支援」を考える

司会：高野龍昭（東洋大学）

#### 障害者の当事者性と支援者の「専門性」を考える

八巻知香子（国立がん研究センター）

#### 専門家養成と当事者主体のはざままで

川内美彦（東洋大学ライフデザイン学部）

#### 利用者・実践家参画型プログラム評価の貢献・可能性

大島巖（日本社会事業大学）

一般演題／口演

15:10～17:10

発表会場 1・講 303

●第5セッション 「病の経験」

司会：木下康仁（立教大学）

5-1 認知症本人と家族介護者の語りデータベース化の試み

—質的調査法に基づく支援ツールの開発—

○佐藤（佐久間）りか<sup>1</sup>・射場典子<sup>1</sup>・後藤恵子<sup>1,2</sup>・竹内登美子<sup>1,3</sup>

（NPO 法人健康と病いの語りディベックス・ジャパン<sup>1</sup>・東京理科大学<sup>2</sup>・富山大学<sup>3</sup>）

5-2 生きていることの有意味感 —ハンセン病当事者のライフストーリー分析から—

○熊谷忠和<sup>1</sup>・井上信次<sup>1</sup>（川崎医療福祉大学<sup>1</sup>）

5-3 シーニュについて

○山縣 弘子

5-4 海外渡航心移植者のアイデンティティークライシスと再構築

—治療により新たな慢性疾患状態を選択すること—

○友松 郁子（医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所）

5-5 筋ジストロフィー病棟に暮らす患者たちの経験 —青年期の患者たちの経験に注目して—

○石田絵美子（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）

5-6 性同一性障がいのナラティブ

○竹中 健（北海道大学）

一般演題／口演

15:10～17:10

発表会場 2・講 304

●第6セッション 「保健医療のフロンティア」

司会：黒田浩一郎（龍谷大学）

6-1 被災地の離島における一人暮らし男性高齢者の生活実態

—震災前と震災から1年後の比較分析から—

○藤川君江（桐生大学）・橋本芳（佐賀大学）

6-2 日本の若年母親の社会的特徴 —アメリカ・イギリスの事例を参照して—

○大川聡子（大阪府立大学看護学部）

6-3 障害者の就労支援における労働のデザインについて

—障害者の労働はどのようにデザインされているか？—

○海老田大五朗・藤瀬竜子・佐藤貴洋（新潟青陵大学）

6-4 東日本大震災前後の被災地における精神的健康 —K6 を用いた分析—

○三澤仁平（立教大学）

6-5 慢性疾患セルフマネジメントプログラム受講患者におけるストレス対処・健康生成力概念  
SOC の向上と「知覚された肯定的変化（PPC）」との関連性分析結果とその示唆

○山崎喜比古 1、米倉佑貴 2、板垣貴志 3、上野治香 4、朴敏廷 4、湯川慶子 4、大宮朋子 5、安酸史子 6（1.日本福祉大学社会福祉学部、2.東京大学社会科学研究所、3.アクセライト(株)、4.東京大学大学院医学系研究科、5.東邦大学看護学部、6.福岡県立大学看護学部）

RTD④	15:10~17:10	発表会場 3・講 306
------	-------------	--------------

「生きなおす」語りの分析 —「病気／健康」を凌駕するわたしたちの生き方—

企画者・話題提供者：大村佳代子（大阪大学大学院）

話題提供者：伊藤美樹子（大阪大学大学院）

話題提供者：蘭由岐子（追手門学院大学）

話題提供者：南山浩二（成城大学）

討論者・コメント：井口高志（奈良女子大学）

討論者・コメント：中塚朋子（就実大学）

討論者・コメント：若生治友（ネットワーク医療と人権）

RTD⑤	15:10~17:10	発表会場 4・講 307
------	-------------	--------------

ユニバーサル化する大学と要支援学生 ～保健医療福祉教育の連携課題として考える～

企画・司会者：杉山克己（青森県立保健大学）

話題提供者：工藤直志(金沢大学)

話題提供者：長谷川万希子(高千穂大学)

話題提供者：横山由香里(岩手医科大学)

司会：伊藤美樹子（大阪大学）

**P-1 児童相談所一時保護所の入所児童の変化と支援の研究 ―中学生の事例分析から―**

○大塚剛司（埼玉県中央児童相談所）

**P-2 スリランカの農園地域の居住環境にみる母子の栄養不良の課題**

○磯邊厚子<sup>1</sup>・植村小夜子<sup>2</sup>（聖泉大学<sup>1</sup>・滋賀県立大学<sup>2</sup>）

**P-3 国際共同研究プロジェクトとしての患者の語りのデータベース**

**―DIPEX International の活動と展望―**

○別府宏圀<sup>1,2</sup>・射場典子<sup>1</sup>・佐藤（佐久間）りか<sup>1</sup>・澤田明子<sup>1,3</sup>

（NPO 法人健康と病いの語りディベックス・ジャパン<sup>1</sup>・新横浜ソーワクリニック<sup>2</sup>・いわき明星大学<sup>3</sup>）

**P-4 精神科作業療法実践と生活療法（批判）との連関**

**―川崎市リハビリテーション医療センターでの作業療法実践者へのインタビュー調査から―**

○田島明子（聖隷クリストファー大学）・井口高志（奈良女子大学）

**P-5 イレッサ承認前後における急性肺障害等の副作用報告と企業・国の対応**

**第1報 承認前の副作用・死亡例報告と企業・国の対応**

○片平洸彦<sup>1,2</sup>・榎 宏朗<sup>1</sup>、吉川健明<sup>2</sup>

（新潟医療福祉大学大学院<sup>1</sup>・健和会 臨床・社会薬学研究所<sup>2</sup>）

**P-6 イレッサ承認前後における急性肺障害等の副作用報告と企業・国の対応**

**第2報 承認後初期の副作用による死亡報告と国・企業の対応**

○吉川健明<sup>1</sup>、片平洸彦<sup>1,2</sup>、榎宏朗<sup>2</sup>

（健和会 臨床社会薬学研究所<sup>1</sup>、新潟医療福祉大学大学院<sup>2</sup>）

**P-7 大学生におけるストレスと健康状態が食行動へ及ぼす影響**

○田口良子・葛野るみ・松田有理・山岡弥生・安田奈緒子

（同志社女子大学生生活科学部）

**P-8 地域における障害者の災害準備と意識**

○北村弥生（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）

白神晃子（早稲田大学人間総合研究センター）